

第7回 日中韓大学院生フォーラム

The 7th CHINA-JAPAN-KOREA Graduate Student Forum

参加者からのメッセージ



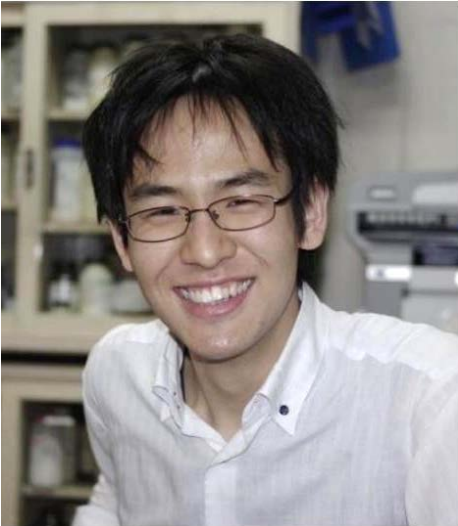
平本 潤/Jun HIRAMOTO
(地球科学専攻 M1)

今回のフォーラムでは学生リーダーグループの一人を務めさせていただいています。しかし、今まで学会の発表などもしたことなく、突然海外での発表の場ということで不安と緊張で頭がいっぱいです。この機会はとても貴重な経験になると思っているので精いっぱい自分なりに努力をしてよい発表が出来ればと思っています。中国に行くのも初めてなので、発表と合わせていい経験が出来ればと思います。



羽尾 周平/Shuhei Hao
(生物圏科学専攻 D1)

私は第5回の日中韓大学院生フォーラムに参加しており、今回が2回目の参加となります。フォーラム経験者、そしてリーダーグループの一員であることから前回とは違った緊張感と責任感を感じております。今回のフォーラムでは英語でのプレゼンテーション能力を向上させることを目標にし、研究者としてさらにステップアップしていきたいと考えています。また、私は研究材料にトマトを使用しており、皆様の食生活と直結する研究を行っています。同じ研究分野の人だけでなく、他分野の人でも理解できる発表をするように心掛けたいと思います。



渡邊 祐太/ Yuta WATANABE
(生物科学専攻 M2)

今回学生リーダーグループのメンバーを務めております、
渡邊祐太です。

今回のフォーラムが昨年に引き続き 2 回目の参加になります。
この大学院生フォーラムの良いところを挙げればきりがないの
ですが、大学の内外を問わず新たな友人を得ることができるこ
と、また全く異なる分野の学生と自分や相手の研究について語
り合えることが最も大きな愉しみではないかと思えます。普段
より深く深く自分の研究を詰めてゆくことは、もちろん研究を

高める意味では良いのかもかもしれませんが、他方で自身を閉鎖的な環境におくことでもあると思いま
す。そうした中にあり、このフォーラムでは生命科学の異なる分野の学生との議論を通じて、自分
の研究を振り返る良い機会になると思えます。必然、他分野の学生にも理解できるような発表の質
も求められます。結果的にこのフォーラムを真摯に取り組むことで、遠回りにも思えますが、自分
の研究を振り返り、まとめ、他者に伝え、そして再度振り返るという一連の過程の訓練にもなって
いると思えます。

このような機会に今年も恵まれたことに感謝しつつ、自分自身2度目となるこのフォーラムでは、
昨年以上のプレゼンテーション、議論を展開できるよう、これからの準備に励みたいと思えます。



川端 祐佳/Kawabata Yuka
(環境バイオマス共生学専攻 M1)

環境バイオマス共生学専攻 1 年の川端祐佳です。

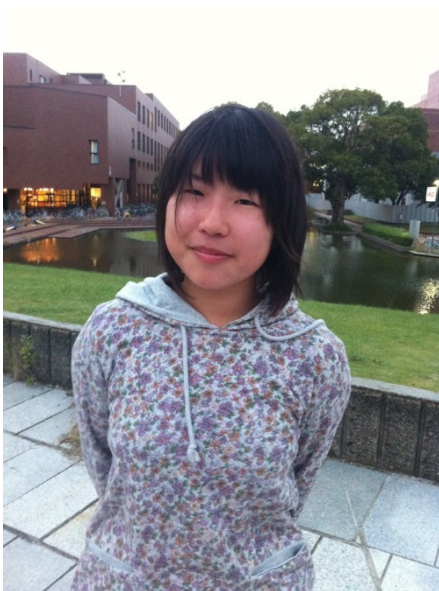
私は tRNA 中の必須修飾ヌクレオシド t^6A とその生合成遺伝子に
関する研究をしています。

このフォーラムには今年初めての参加で、ポスター発表をさせ
て頂きます。英語を話すのは正直苦手なのですが、たくさん練
習して良い発表ができるようになりたいです。自分の研究に関
して、海外の学生と共にディスカッションできるこの機会を
与えて頂いたことに感謝しています。現地に行ったら、多くの学
生と交流でき、学ぶことが多いと思うので、楽しみです。



栗野 智帆/Kurino Chiho
(生物科学専攻 M1)

筑波大学院 M1 の栗野智帆と申します。私は、モデル生物として有名な線虫を用い、老化について研究しています。長生きすることが当たり前の世の中になっていますが、これから先求められるのはいかに健康的な生活を維持できるかだと考え、それを可能にするような生理活性物質の探求、作用の解析などを行っています。今回は中国、韓国の大学生と交流する機会を与えて頂き、大変嬉しく思っています。自分の英語力を最大限に高め、ベストな発表ができるよう頑張ります。



牧下彩乃/ Makishita Ayano
(生物資源科学専攻 M1)

今回このフォーラムに参加する機会をいただき、感謝しております。ありがとうございます。国際的な会議やシンポジウム、フォーラムといったものに参加するのは初めてなので、どんなふうに自分が参加しているのかイメージが湧かず、今は期待よりも不安を抱いています。しかし一緒に参加するメンバーと練習をし、しっかりと準備をして、日本、中国、韓国のどの学生ともディスカッションを楽しんで来たいと思います。



村上 生馬/ Murakami Ikuma
(生物科学専攻 M1)

今回、第7回日中韓フォーラムに参加することになりました村上生馬と申します。私は、現在筑波大学の大学院で筋肉について研究しています。筋肉は、可塑性に富んだとても興味深い組織です。そんな筋肉を対象として、私は筋損傷に関して研究を進めています。この度は、日本の他大学、中国、韓国の学生と交流する貴重な機会を与えて頂いたので、最善の準備をして充実した時間を過ごしてきたいと思えます。



諸橋 香奈 / Kana Morohashi
(生物科学専攻 M1)

この度、このような機会を設けていただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

私は生物科学を専攻しており、ステロイドホルモンの生合成について、線虫を用いて研究を行っています。このフォーラムでは、英語に臆せず積極的にコミュニケーションを取ること、私の研究の面白さを少しでも伝えることを目標に、精一杯頑張りたいと思います。



佐藤文香/Sato Ayaka
(生物資源科学専攻 M1)

今回発表する内容は、「ナイル流域における食糧・燃料の持続的生産プロジェクト」で行っているエジプト・ナイルデルタでの水稻の節水栽培試験についてですので、日本、プロジェクトの代表という気持ちで発表したいと思います。また、中国、韓国から参加する学生だけでなく、日本からの学生と積極的な意見交換を行い、中国、韓国や異なる分野の研究について知見を広めたいです。

自分の参加が他の学生への刺激になるよう、精一杯準備、発表を行いたいと思います。



ナジア マシン/ Nazia Muhsin
(生物資源科学専攻 M1)

I am glad and privileged to be a part of the 7th China-Korea-Japan Graduate Student Forum. Initially I was very nervous as it will be my first presentation in front of a large audience. Nevertheless, all the instructors and members of the forum are so kind to guide us all the way for our best output. I think this is an opportunity to learn and to share

your thoughts and experience of our research field. Such gathering of different countries students, scholars, professors and researchers will enhance and broaden our knowledge and skill. I am looking forward to have a great experience.



高橋唯/Takahashi Yui
(地球科学専攻 M2)

研究の成果は、発表されることによって多くの人に共有されることが大切だと思います。僕は古生物学という一般的にはあまり馴染みのない分野を専攻していますが、今回のフォーラムのように、多くの分野の人が一堂に会する場での発表の機会を得られて、嬉しく思います。僕にとっては初めての国際会議なので不安もありますが、それ以上にきっと多くのものを得られるであろうという期待を抱いています。



ジュアン・ミゲル・レクト

Juan Miguel Recto

(生物科学専攻 M2)

I'm thankful for this opportunity to participate in the China-Korea-Japan forum. This will be my first time ever to attend an international scientific forum or conference, and I'm very excited. I think it will be a good chance to gain

experience in presenting my research to a wide audience. I believe my research is quite interesting but I usually have trouble explaining it other people. Additionally, I'm not very outgoing so I'm taking this as a challenge. Hopefully by attending this forum I will be able to improve my communication skills. Apart from this, I'm looking forward to meeting students from China and Korea, exchanging ideas and making new friends. I am curious what kind of research is performed in other universities and how it differs from the University of Tsukuba. All in all I think this will be a very good experience in my development as a scientist.



スタンニスロウス ミシマ セルビア

Mishma Silvia Stanislaus

(生物資源科学専攻 M2)

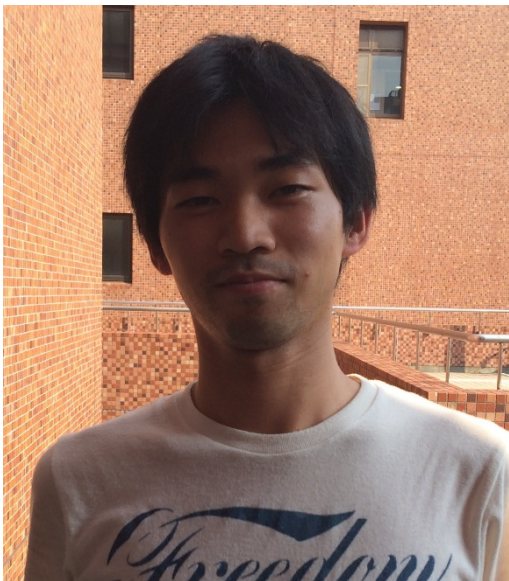
First of all I would like to express my sincere gratitude to the Committee members for choosing me as a candidate to participate at the CKJ – Forum to be held in China. Participating at International conferences helps us widen our horizons both in terms of academics and social life. It's one of the biggest Forums and the number of students participating is also huge which gives us

more opportunity to interact with people from different majors and background. I believe that this forum gives every candidate the occasion to showcase their research and ideas as well as obtain new ideas which could open new vistas in the field of science and technology. As it will be my first time to present overseas at an International conference, I am quite anxious about the same but I am really looking forward to it and will give my best to make it worthwhile. I would also like to wish all the participants good luck and hope we remember that we are not representing ourselves as an individual but our country as a whole.



ピラパン・パンターヌウォン
Pirapan Panthuvong
(生命産業科学専攻 D2)

First of all I would like to thank you for all committees who give this good opportunity for me and all staffs who manage and cooperate this forum very well. I am very appreciating to join this forum. This will be my first time to join the international meeting and give a presentation, so I am so excited and looking forward about it. It will be very good experience for me in the future. Not only academic but also culture and interesting that we can exchange, learn and share together. Moreover, I think this forum can give the ideas and encourage me, as a scientist, more or less. I hope this forum will be continue and have more participating countries in the future.



岡崎拓未/ Takumi Okazaki
(生物学類 B4)

私は、筑波大学が保有する下田臨海実験センターの沖で行っている定期的な観測より、植物プランクトン群集組成の動態に関しての研究を行っています。植物プランクトンは海洋における炭素の循環に重要な役割を果たしており、このような観測を積み重ねることによって海洋による二酸化炭素の吸収の様子を知ることができると考えています。このフォーラムへの参加は初めてですが、研究を海外の人に伝えディスカッションをする貴重な機会であるのでぜひ有意義な時間になりたいと考えています。



畑中美帆/Hatanaka Miho

(生物資源学類 B4)

英語での口頭発表は初めての経験です。先生方、院生の先輩方にご指導いただきながら、一人前に発表できるよう頑張りたいです。学部4年にしてこのような貴重な機会をいただけたことに感謝します。

私の研究分野である近赤外分光は、分光学の中では比較的新しい分野です。身近な利用例が増えてきているものの、まだまだ知名度は低いようです。このフォーラムで、皆さんに近赤外分光という技術のことを少しでも知っていただけたら嬉しいです。



岡田 千明/ Chiaki OKADA

(地球学類 B4)

生命環境学群地球学類4年の岡田千明です。

大地震の後に、九州地方で観測される誘発地震活動についての研究を行っています。初めての学外での発表になりますが、自分の研究について多くの方々に知っていただけるよう分かりやすい発表をしたいと思います。また、国内外の他の大学の学生と交流する機会が今まであまりなかったので、このフォーラムを通して専門分野の関する知識だけでなく多くのことを吸収し、自分自身を成長させることができれば良いなと思います。よろしくお願いいたします。